

大学生の男女における男性理想像の変遷

保泉優

本論文では現在のイケメン、また時代とともに変化するモテ、大学生の男女に「理想」とされる男性イメージの変遷について明らかにすることを目的としている。男女の役割期待の違いを先行研究で明らかにしたうえで、男性の役割期待の変化を見ていき、現代の男性の美容意識を、メイク、脱毛、などの市場規模の推移を見たうえで、現在の男性の理想像がどのようなになっているのか、理想像を明確にすり合わせていく。そして大学生の男性女性別の男性理想像をアンケート調査で行い、学生男女の理想とされている男性理想像を分析、考察し、明らかにしていく。

本研究では、今までの男性理想像と、現在の大学生における男性理想像から、近年の男性の「脱男性化」、「中性化」を取り上げた。この「脱男性化」、「中性化」は90年代後半の男性着用服から始まり、その後2008年、2009年に「草食系男子」が流行したことが、現在の「脱男性化」、「中性化」の土台となっていることが分かった。男性の「女性性内在化」の裏付けとなるのではないかと考える。

アンケート調査の結果、従来の「男らしい」とされる男性理想像から、メイクや脱毛といった「脱男性化」、「中性化」される男性像が、男性の理想像となり、モテる男性像となっている。「力強さ」「たくましい」などの「男らしい」とされてきた従来の男性像から変化していることが分かった。男性の「脱男性化」、「中性化」は好ましいものとされ、多くの人が「美しい」と認識し、男女間の「美」に対する差異が少なくなっていることが明らかとなった。

この多様性の受け入れは、現在のジェンダー問題や、今後の社会を生きていく中で重要な視点であると考えられる。LGBTQや男女間に存在する偏見を少なくしていくことは、それぞれ個の意見を尊重し、向き合っていかなければならない問題であり、重要なものである。この男女間の「美」に対する差異の減少が、男女間の差別をなくすことにつながっていくであろう。